

川口市立青木中央小学校 「お箸の教室」

子どもたちの楽しい夏休みも終わりに近いこの時期、青木中央小学校で「川口市サマースクール」が開催されました。国際箸学会は学校からの要請があり、1年生、2年生を対象に総勢330名ほどの元気な子どもたちに「お箸の教室」を実施しました。

1時限は1年生5クラス、2時限目は2年生5クラスでそれぞれ160人余りの合同授業です。子どもたちは元気に挨拶、鈴木先生の問いかけにもとても活発に答えてくれました。

箸の歴史や箸使い、箸の正しい持ち方を学習した後、「箸の歌」を皆で歌いました。良く知っているメロディーに乗り元気な歌声が響き渡りました。紙芝居は小さく後方の子どもには見えにくく、多人数の時はプロジェクター投影などで対応してあげなければと反省しました。

箸ピーゲーム個人戦の後、各クラス対抗の団体戦は声いっばいの応援で大いに盛り上がりました。最後に、裏面に「箸の持ち方」と「箸の歌」を印刷されている修了証を児童全員に渡しました。お箸について興味や関心を持ち、家庭でも親子で楽しく学んでいただけたらいいなと思います。



箸の持ち方、出来たかな？



箸ピーゲームは楽しさと緊張と